

# エコ活動を知ろう

エコ活動は個人以外にも企業全体で取り組んだり、ボランティアをとおして行われています。今回はビックカメラと、アイポイントの取り組みを紹介します。

## 企業の取り組み

### ビックカメラ

2008年、業界のトップランナー企業の環境保全に関する行動を更に促進していくための制度「エコ・ファースト制度」が環境省により創設され、その第1号に株式会社ビックカメラが選ばれました。今回、CSRを担当する加藤周二取締役にお話をうかがいました。

エコ・ファースト制度は、今までにない前向きな制度だと思います。その制度の第1号に当社が選ばれたということは名誉ではありますが、同時に責任もあります。守るだけではなく、進化させていくことが重要です。

取り組みのひとつとして、店内の冷房を従来より2℃程度高めに設定しています。そのときの混み具合や体感温度を考慮して、お客様が不快に感じられないよう柔軟に対応しています。従業員の高い意識が必要になってきますので、当社では各店舗にいる省エネ担当者を対象に研修をおこないます。そこから全従業員に伝えています。また、各種の社員研修でエコ・

ファーストの意義と責任について講義をおこない、店舗では省エネ勉強会を開くことで一層の浸透をめざしています。

新店舗や改装店舗では省エネ型照明LEDを利用し、消費電力の削減に努めています。2007年の池袋本店の外装改装時にもLEDを使い、消費電力を7分の1にするといった成果があげられています。

お客様のご理解とご協力のもと、展示用のテレビなどは通電の削減を実施しています。その際に「エコ展示」の表示を行うことで、地球環境を守るという意識をお客様と店側で共有していく、その意識の輪を広げるためのメッセージを兼ねています。



#### 株式会社ビックカメラ

「CO<sub>2</sub>排出原単位（店舗面積当）を2010年までに2006年対比で4%削減」という家電量販店として初めて企業単位の数値目標を設定するなど積極的に環境活動を展開する。エコ・ファーストに選ばれ「家電リサイクルを適正かつ積極的に推進する」「循環型社会の形状に向けた取り組みを積極的に推進する」「地球温暖化の防止に向けた取り組みを積極的に推進する」という3つの約束をした。

#### LED

発光ダイオードのことで、白熱電球にくらべて寿命が長く、電力消費も少ない。池袋本店では改装を機に、LED電気を利用しはじめた。

## 地域ボランティア

### アイポイント

2008年6月7日と8日の2日間、池袋西口公園にて「フォーク&カントリーウエストパークフェスティバル08」が開催されました。園内の一角では、アイポイント※のじゃがいも交換所が設営され賑わいをみせていました。

※アイポイント—池袋でおこなわれているボランティア活動に参加した人がもらえる地域通貨。

「これ全部じゃがいもなんですか?」「こんなじゃがいも初めて見た」。このような声が飛び交う2日間でした。ケースに詰まれたじゃがいもは全部で18種類。なかには皮も中身も紫色のものや、栗のような味わいのもといった珍しいものもあります。

埼玉県の久保農園で栽培していたじゃがいもを池袋でボランティアをやっている人たちにあげようと考えたのがきっかけでした。リーダーの石森宏さんは「ボランティアによって、人と人とがふれあいまちづくりをしたいと思っています。そのしくみをつくるのがアイポイントです。

放置自転車対策、緑化や美化、環境浄化パトロール、農園での作業のいずれかのボランティアに1回参加するごとに、アイポイント1枚が渡されます。そのアイポイント

はじゃがいも1キログラムと交換できます。アイポイントは何枚持っても、じゃがいも交換は1回、つまり1枚しか使えません。それでも定期的にボランティアをやってくれる方は多いです。みんな得をしようと考えているわけではなく、ただ楽しいからやるといった考えなんです」とアイポイントにかける思いを話します。

今回用意されたじゃがいも1800キログラムは完売しました。154枚のアイポイントが交換され、アイポイントを持っていない方にも1キログラム300円で販売されました。この売上金を種芋代・肥料代にして、それで栽培した農作物が次回の交換日にアイポイントと引き換えられます。

楽しみながらやっているボランティアが、人と人の輪を広げ、さらに環境問題の改善につながります。「じゃがいもが食べたい!」そんな理由でも、まずは最初の一歩を踏み出してみてはいかがでしょうか?



#### 高田 賢さん

大学4年生

大学で環境問題について勉強したのがきっかけで、毎週火曜日の昼におこなわれている花壇の水やりボランティアに参加するようになったそう。「エコブームによって、エコ活動が騒がれていますが、環境問題の解決は、地道な作業の積み重ねにあるものですから、継続してやっていくべきだと思います」。



#### 石森 宏さん

NPO法人ゼファー池袋まちづくり・アイポイントのリーダー。ボランティア参加者に地域通貨を渡し、年2回の「交換日」に久保農園で作った無農薬野菜と交換する。アイポイントを通じてのまちづくりをめざす。

